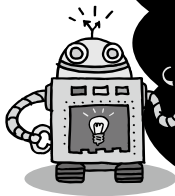


庄原市に光がやってきました

その7

情報政策課 情報政策係 ☎0824731113
 広報広聴係 ☎0824731159

告知端末使用申請書を提出した方には「NTT西日本中国コンサルティングセンター(0800・200・3499)」から電話があります!



市は、市内全域に整備される光ファイバーの回線を活用して、緊急情報や行政情報をお知らせする告知放送を実施する予定です。本年度に光ファイバーが整備されるエリアの住民・事業所などの皆さんには、説明会を開催するなどして、告知端末使用申請書を配布して住民告知端末(放送が聞ける機器)の設置をお願いしています。申請書を提出した方には、申請内容の確認や工事日の日程調整のためにNTT西日本中国コンサルティングセンターから電話がかかっています。しかし、電話番号が「0800・200・

3499」のため、「080・●●●●」の携帯電話と勘違いされ、不審電話として電話を切られるケースが発生しています。告知端末の設置・光サービスの利用には必ずNTT西日本との手続きが必要です。ご対応をお願いします。

「ひかり電話」では、現在使用されている電話機をそのまま使用できます!



市民の皆さんから「ひかり電話」で使用される電話機は新しいものを購入すべきなのか?という質問をいただきました。

説明会でもお話ししていますが、「ひかり電話」になっても現在使用されている電話機をそのまま使用することができます。必ずしも新しい電話機を購入する必要はありませんので間違いないようにお願いします。

母子保健 だより



子どもの運動発達

文：市立西城市民病院 理学療法士 海渡聡子

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255

運動発達に関する相談で多い内容

市が実施している運動発達相談事業では、月齢や年齢によってさまざまな相談があります。中でも乳幼児期のO脚やX脚、足が内側に向いた歩き方、心配されるケースが多く、「歩き方がおかしい」「よく転ぶ」と感じて相談に来られます。

足が内側に向く歩き方の中には、足部の骨形成(足アーチ)が成長する過程で問題となる場合があります。例として、図1のように踵が外側に少し動いて成長し、足の裏の筋肉が緩みやすくなるため土踏まずが下がってしまうといった症状が起きます。予防には、遊びなどを通じて足裏の筋肉の発達を促すことが大切です。



図1

足をそろえて立ったとき、両膝の間につき間ができるのがO脚、両膝がくっついたり

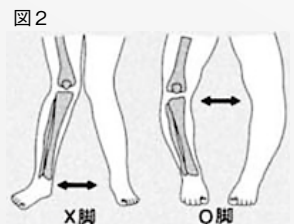


図2

重なり合ったりするのがX脚です(図2)。乳幼児期は、骨関節の発達によりO脚からX脚の過程で成長します。赤ちゃんはO脚が普通で、2歳頃までその状態が続きます。2歳から3歳頃には逆に少しX脚傾向が普通で、これは7歳頃まで続き、その後真つすぐな脚に成長していきます。O脚は両膝の間が2cm程度のすき間なら心配なく、X脚は両くるぶしの間が2cm程度のすき間なら心配ありません。例えば、両膝のすき間が5cm以上もあるO脚は、相談されることをお勧めします。大部分の子どものO脚やX脚は問題のない発達ですが、気になる場合は保健医療課または医療機関へご相談ください。

運動発達相談：奇数月第2月曜日午後。理学療法士が相談に応じています。(予約制)

相談予約先・問い合わせ

保健医療課健康推進係
 ☎0824・73・1255